

2002. 9月PTAアンケート結果の報告と考察 また今後に向けて

多くの皆様のご協力で、9月にアンケートを実施させて頂くことが出来ました。御礼申し上げます。かなり細かく調査させて頂きましたので集計に時間がかかりましたが、どうにか皆様にご報告出来るようになりました。集計や考察は非常に多くなりますので、その中で抜粋してご報告させて頂きます。更に詳しく知りたい方は、小学校にご用意させて頂きすので、お問い合わせ下さい

またこの結果を関係者に配布させて頂き、今後の活動の参考にして頂きたいと思っています。

アンケート考察するに当たって

【もう一度整理】

イ) アンケートの目的

1. 現状の把握

2. 今後に向けてのヒントを探す。今後の活動への提案

1. PTAの活動へのフィードバック

子供たちを中心に、その家族・学校をも視野に入れた今後の活動

2. 小学校への報告

3. 地域への報告

3. すべての根底にあるものは

将来にわたり素晴らしい土屋であるために

今後もこの地域に住み続けたいと思える土屋であり続けるために

子供にとっても

ふる里つちや

保護者や家族にとっても

【私たちの周りの環境の再確認】

イ) 社会環境の変化

- ・ 少子超高齢化社会・・・今までの日本・世界が経験したことのない世界
- ・ 自己責任の時代・・・国に頼る時代ではない。生きる力＝自立型社会
- ・ 地域の時代・・・地域の責任と権利の拡大。地域間格差・地域の特徴
- ・ 国際社会・・・地球規模でのグローバル化
- ・ 競争の激化・・・本当の自由主義経済の進展
- ・ 雇用の変化・・・女性の社会進出の増加と役割の重要度が増す
雇用の流動化＝自由さ、不安定化さ
- ・ こころの時代・癒し

ロ) 子供達を取り巻く環境が変化

1) 学校5日制の完全実施

子供達に何が必要か。

生きる力 ＝ 総合的な学習

必用なものの修得と才能・可能性の発見と育成

- 2) 地域の時代 小さな行政 大きな地域の責任・負担＝地域の自主性・やりがい
- ・教育に於いても、地域教育力が必要とされている。
 - ・これから地域間格差がでる。
よく成るも悪くなるも、その地域の人の意識・行動にゆだねられるから。
地域の自立。権利の取得と結果への責任
- 3) 子供の教育を通じて、地域のコミュニティーが発達し、地域が更に活性化される。
楽しく素晴らしい地域
- 4) 家庭環境の変化
- ・少子化
 - ・高齢化・老人介護
 - ・仕事：母親の社会進出
休日の多様化：休日・深夜営業の増加
所得の2極化：中間層の減少と低所得層の増加
終身雇用制の減少：雇用の流動化
所得の年齢との不一致

こんな時代に突き進んで行く。土屋の現状は

【アンケート等からの確認・考察】

回答数 生徒数98人(87.5%) 家庭数77軒(87.5%)

(注：これ以下のパーセンテージは各設問の回答者数に対して、その中で占める割合です。)

イ) 家族構成

・祖父又は祖母と同居	67.6%	・兄弟姉妹が居る	69.1%
・保護者以外い無し	8.8%	・3人以下の家族	7.2%
・3人以下の家族	7.2%		

と 大家族が多い。地域特性

ロ) 保護者の休日

・父親	日曜日休み	75.4%
	土日共に休み	52.2%
	土日とも休みとは限らない	23.2%
・母親	仕事を持っている	42.8%
	そのうち	
	土日とも休み	30.3%
	日曜日が休みとは限らない	48.5%

・休日也多様化しているおり、社会環境から見てもこの傾向は高まるのでは

子供の受け皿が必要：社会では子供の託児所が不足し社会問題になっている
子供がふらふらしているケースも増加

ハ) 生徒の土日の過ごし方

・家族と過ごすことが多く、家でのおんびり過ごしたり出かけたりしている

特に祖父母と過ごす子供は他地域よりかなり多い。

土曜 65%

日曜 61%

兄弟姉妹も多いので、兄弟と過ごす子供も多い。

土曜 80%

日曜 76%

これは保護者の解答だが、子供の解答も似たような傾向にある。

この土屋の特徴は子供の人間形成等の成長に大きく関与している

ロ) 学校週5日制がはじまって土日の変化(アンケート時点は9月で、2学期が始まったばかりだが)

土日曜日の過ごし方は大きくは変わらない。大人も子供も

家族で過ごす。出かける。友達と遊ぶ。家でTVやゲームをすることが増えている。

そのなかで休みが増えたことに対して

(A) 保護者は良かったが多く 78.4% で、家族で過ごしているようです

しかし

・良かったと答えている人も含め問題や心配事を抱えている人が非常に多く、その数は

1) 全家庭で	何らかの問題がある	71.5%	特になし	28.2%
そのうち	学力低下	45.1%	時間的負担	15.5%
	金銭的負担	19.7%	子供の世話	12.7%
	精神的負担	7.0%	子供と一緒にいられない	9.9%
	子供の受け皿	15.5%	等が多い解答	
2) 祖父母がいない家庭で		79.3%	祖父母がいる家庭を	10%上回る
そのうち特に時間的負担が問題		20.7%	"	の約2倍
"	子供の世話が問題	17.2%	"	の約2倍
3) 兄弟のいない家庭で		88.2%	兄弟のいる家庭を	22.3%上回る
そのうち特に時間的負担が問題		23.5%	"	約10% "
"	子供の受け皿が問題	29.4%	"	の3倍以上
4) 土日共父親が休みでない家庭で		77.4%	土日とも休みを	10%上回る
そのうち特に学力低下が問題		51.6%	"	10% "
	一緒に居られない	12.9%	"	の3倍以上
	子供の受け皿が問題	19.4%	"	の3倍以上
	逆に時間的負担が問題	12.9%	"	8%下回る
	金銭的負担が問題	16.1%	"	8% "

5) 土日共母親が休みでない家庭で	82.6%	土日とも休みを20%上回る
そのうち特に学力低下が問題	52.2%	〃 の2倍以上
時間的負担が問題	17.4%	〃 を5%上回る
一緒に居られない	26.1%	〃 の2倍以上
子供の受け皿が問題	26.1%	〃 の2倍以上
精神的負担	17.4%	〃 は0%と誰もいない
逆に金銭的負担が問題	17.4%	〃 の半分以上
6) 両親が共に土日休みでない家庭で	81.8%	土日とも休みを21%上回る
そのうち特に学力低下が問題	72.7%	〃 の3.5倍以上
一緒に居られない	36.4%	〃 の2倍弱
子供の受け皿が問題	18.2%	〃 は0%と誰もいない
精神的負担	18.2%	〃 は0%と誰もいない
逆に時間的負担が問題	18.2%	〃 を2%下回る
金銭的負担が問題	18.2%	〃 の半分以上
7) 保護者以外に同居者がいない	100%	と全員が問題を抱えている
そのうち特に学力低下が問題	66.7%	一緒に居られない 33.3%
子供の受け皿が問題	16.7%	時間的負担が問題 50.0%
金銭的負担が問題	16.7%	

全体的傾向

- ・保護者の休みが土日に多い方が時間的・金銭的負担を感じている。
- ・保護者の休みが土日の両日休みでない家庭、兄弟や祖父母のいない家庭が学力の低下・子供と一緒にいられない・子供の受け皿等の問題を抱えている。

子供と過ごす時間が増えた反面、金銭的時間的負担が増え、土日休みでない人は子供の受け皿や学力の面で心配や問題を抱えているようだが、大家族が多く祖父母や兄弟に支えられている面が大きいようである。

(B) 休みが増えて子供が良かったと思うことは

- | | | | |
|---------------|-------|----------|-------|
| ・家でTVやゲームができる | 53.1% | ・のんびり過ごす | 50.0% |
| ・出かける | 48.0% | ・家族で過ごす | 37.8% |
| ・遊ぶ | 31.6% | | |

(C) 子供が困っていること・心配事

- ・何かに困っている 30.6%
 - そのうち何をして良いか分からない 14.3%
 - 友達が近くにいない 11.2%
 - 兄弟姉妹がいない生徒50%が何らかに困っており、特に友達が無く困るが38.9%

(D) 土曜日の休みが増えて何か工夫している生徒は36.7%で 特に工夫無しが59.2%

子供たちに、色々なキッカケや場面を与えてあげることが必要。
選択肢は色々あり、子供や親が選べる

ハ) 保護者や祖父母の子供に対する思いで、どんなことを身につけさせてあげたいか、その為にどんな経験をさせてあげたいかと言う問いに対しては保護者・祖父母も似ていて、

- ・体を鍛える・こころを鍛える・育てる・はぐくむ・考える力・ひとつきあい
- ・地域のこと・古き良きこと・勉強・社会に出て必要なこと等

色々な事が身に付く経験を多くさせたいと思っている

二) 子供達が参加したい事

・あそびゲーム	76.5%	・スポーツ	63.3%
・土屋の事を学ぶ	34.7%	・動植物の観察や飼育	33.7%
・自然と遊ぶ・自然を知る	22.4%	・昔の遊び	26.5%
・音楽鑑賞や絵を描く・田植え・乳搾り・芋掘り はそれぞれ 約20%程度			
・家では出来ないこと他 参加したいことは多数ある。			

色々なことに興味関心がある。これに総合的学習的見地も踏まえ答えてあげる事が大切

ホ) 地域は子供達の為にどんなことが出来ると思いますかと言う問いに対して保護者は、

約6割の人が何か出来ると答えている **特に安全面や子供の育成に対して期待が大きいようです**

ヘ) 子供の教育に役立つ地域の資源・財産も色々とあげて頂き色々と活用出来そうです。

**特に新しく出来る公民館には、大人も子供も児童館的役割が求めているようです。
子供の活動の拠点として学校と合わせその位置づけを検討して行く必要がある。**

ト) 人の面については多くは聞けませんでした。色々な人が居て、活動も実際にされている。土屋には住んでいるが、地域の事についてあまり知らない人が多いのではないのでしょうか。今後このあたりを上手く情報収集する必要がある。

生涯学習・生涯スポーツなど子供の為ばかりでなく地域の人々が気軽に参加出来る仕組み作りを考えて行く必要があると思います。

チ) 父親の学校への参加度合いは

年間 1回 57.5% 2回 25.4% 3回 3.4%

その内容は

参加行事は運動会が 96.8% とほとんど全員で圧倒的に多く、

授業参観 38.1%

りんどう祭バザー 30.2%

それ以外の行事の参加は少なく関係者が参加している位ではないかと思われる。

しかし勉強を始め関心は高く、協力も含め工夫次第では参加者も増えると思います。

父親の75%人が日曜休みです。

行事には日曜の活用がやはり有効だと思われます。

出やすい時間は	午 前	午 後	夜
日曜日	25%	17%	6%
土曜日	18%	21%	13%
平 日	5%	3%	5%

リ) PTA・学校・地域・公民館・行政に望むこと、期待すること。今この地域で問題になっていること、今後この地域の問題になるとと思われることについて

**施設面で施設の整備・有効利用が多く、
子供の安全確保や教育、少子化、
行事の多さやそれを運営する組織の問題 等があげられた
反面、地域の活動に対する期待もあげられた。**